

公益財団法人ソニー音楽財団

平成27年度 事業報告書

(2015年4月1日～2016年3月31日)

I. 方針

当財団の平成27年度事業は、過去30年間の実績を基に、より積極的な活動を多角的に展開することによって一層、社会的評価を高めるよう努めました。

II. 事業

公益目的事業1. 音楽、オペラ、舞踊等の普及向上事業

(1) 「Concert for KIDS～0才からのクラシック®～」 「Concert for KIDS～3才からのクラシック®～」の開催

「生まれた赤ちゃんにも生のクラシックを聴かせたい」、「ぜひ生まれた子供と一緒に聴けるコンサートに行きたい」というお客さまの声から1999年に誕生した、未就学児とその家族を対象としたクラシック・コンサートです。

出演者はピアノ、ヴァイオリン、チェロ、フルート、トランペット、トロンボーン、マリンバ、弦楽カルテット、オペラ歌手や童謡歌手など多岐に渡り、地域やホールに合わせ、さまざまな内容構成で開催しました。

【日程及び会場】2015年～2016年

5月 2日 (土)	[東京都]	ホテルニューオータニ
6月 7日 (日)	[神奈川県]	青葉区民文化センター フィリアホール
6月28日 (日)	[北海道]	幕別町百年記念ホール
7月 8日 (水)	[東京都]	台東区生涯学習センター ミレニアムホール
9月 5日 (土)	[東京都]	なかのZERO 大ホール
12月13日 (日)	[千葉県]	印西市文化ホール (2回公演)
3月21日 (月・祝)	[東京都]	Hakuju Hall (2回公演)

以上全9公演

(2) 「0才まえのコンサート®—ママのおなかは特等席—」の開催

妊娠している母親が、コンサートにより得られる感動や喜びは、お腹の赤ちゃんにもよい影響を与え得る、という発想から企画されたユニークなコンサートです。1985年にスタート、現在までに160回以上、全国30カ所以上で開催しています。

妊娠をきっかけにクラシック音楽に触れてみようというクラシック初心者の方々もリラックスしてコンサートを楽しめるよう、曲は耳馴染みのある優しい小品を中心に構成され、出演者による出産・子育て経験談や作曲家にまつわるエピソードなど、トークも交えながら進行します。カップルや家族で外出しやすい土・日の午後に開催しており、来場者の多くがお腹の中の赤ちゃんとパパとママなのも大きな特徴です。今年度は母にもなったヴァイオリニスト宮本笑里による公演を行いました。

【日程及び会場】 2015年

2015年6月7日（日）[神奈川県] 青葉区民文化センター フィリアホール
出演：宮本笑里（ヴァイオリン） 加藤昌則（ピアノ）
主催：Sony Music Foundation

以上全1公演

**(3) 「子どもたちに贈るスペシャル・コンサート・シリーズ
～10代のためのプレミアム・コンサート」の開催**

子どもたちに贈るスペシャル・コンサート・シリーズは、2004年より始まりました。これまでにニューヨーク・フィル、ベルギー王立歌劇場（モネ劇場）、パリ・シャトレ座、イ・ムジチ合奏団、ウィーン・トーンキュンストラ管弦楽団、ファジル・サイ、フランス国立リヨン歌劇場管弦楽団、ニコラウス・アーノンクール&ウィーン・コンツェントウス・ムジクス、シモン・ボリバル・ブラス・クインテット、鼓童、ロンドン交響楽団など世界に名だたる演奏団体・演奏家たちによる公演を開催してきました。今後、小学生から10代を対象として30周年事業として立ち上げた「10代のためのプレミアム・コンサート」にシリーズを統合しました。今年度は実施しませんでした。

(4) 「MIKIMOTO 日本赤十字社 献血チャリティ・コンサート」の開催

毎年2回開催している本コンサート・シリーズは、1990年よりスタートし、25年を超えて継続開催しています。コンサートによって得た収益金は日本赤十字社へ寄付され、献血のための血液を運搬する血液運搬車の購入・整備資金へと充てられます。いつでも、どこでも、誰にでも必要なだけの血液が滞り無く届けられるよう、日々の運搬車の整備には細心の注意が払われていますが、現時点では十分な数の運搬車が確保出来ているとはいえない状況です。本コンサートでは、寄付活動を通じて、一般の方が、より献血に対する意識を高めるための広報活動の一端も担っているものです。今年度は東京と名古屋にて開催しました。

【日程及び会場】

【第52回】東京公演

ニューイヤーズ・コンサート

2016年1月17日（日）

会場：[東京都] サントリーホール

出演：横坂源（チェロ） 木嶋真優（ヴァイオリン） 大友直人（指揮）
東京都交響楽団

主催：Sony Music Foundation

共催：公益財団法人東京都交響楽団

協賛：ミキモトグループ【株式会社ミキモト/株式会社御木本真珠島/
御木本製薬株式会社】

後援：日本赤十字社

【第53回】名古屋公演

2016年2月18日（木）

会場：[愛知県] 電気文化会館

出演：ジャニーヌ・ヤンセン(ヴァイオリン) イタマール・ゴラン(ピアノ)

主催：Sony Music Foundation

共催：中電不動産株式会社

協賛：ミキモトグループ【株式会社ミキモト/株式会社御木本真珠島/
御木本製薬株式会社】

後援：日本赤十字社

（5）“GREAT ARTIST SERIES”の開催

当シリーズは世界的に実力第一級のアーティストによる、商業ベースに左右されることのない、貴重な公演を提供しようとするシリーズです。今年度は第11回 国際オーボエコンクールの開催を記念して、オーボエ界の巨匠モーリス・ブルグ氏を中心としたブルグ・トリオの公演を1回、また同コンクールの入賞者と審査委員との公演を2回行いました。

【日程及び会場】

モーリス・ブルグ・トリオ

2015年5月29日（金） [東京都] トップアンホール

出演：モーリス・ブルグ（オーボエ） セルジオ・アッツォリーニ（ファゴット） 今
仁喜美子（ピアノ）

主催：Sony Music Foundation

※その他広島、兵庫、和歌山、神奈川等にて売り公演あり（計7公演）

「第11回 国際オーボエコンクール・軽井沢」入賞者&審査委員コンサート
2015年10月11日(日) [長野県] 軽井沢大賀ホール
2015年10月12日(月・祝) [東京都] 東京文化会館 小ホール
出演:「第11回 国際オーボエコンクール・軽井沢」入賞者及び審査委員
群馬交響楽団 江口雅子(ピアノ) 栗形亜樹子(チェンバロ)
主催: Sony Music Foundation
共催: 東京文化会館(公益財団法人東京都歴史文化財団) ※10月12日のみ

(6) 東日本大震災復興支援プロジェクト

2011年度から東日本大震災復興支援プロジェクトの柱として開始した「小・中・高校生のための『第九』チャリティ・コンサート」は、チケットを購入することによって子どもたちもチャリティに参加できるコンサートで、チケット収入の一部と公演当日の募金を被災した子どもたちの支援に役立てることを目的とし、中期的に継続します。5年目となる今年度は、秋山和慶氏指揮、東京都交響楽団にて開催しました。公演収入の一部及び当日の会場募金、また「Concert for KIDS」オリジナルCDの売上から1枚につき200円を震災復興支援活動のために寄付しました。

【日程及び会場】

2015年12月18日(金) [東京都] 文京シビックホール 大ホール
出演: 秋山和慶(指揮・おはなし) 川島幸子(ソプラノ) 坂本朱(アルト) 福井敬(テノール) 山下浩司(バリトン) 東京アカデミー合唱団
東京都交響楽団 中井美穂(司会)
主催: Sony Music Foundation

(7) Dream Seats / 子ども音楽新聞

Dream Seatsは、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団等の定期公演などを、小学生から高校生までの青少年とその保護者へ安価に販売しています。子ども向けに作られた公演ではなく、大人と一緒に通常の演奏会を楽しんでもらうために提供している企画です。その他「東京・春・音楽祭」実行委員会に協力する形で、コンサート形式のオペラ公演と、合唱と管弦楽のガラ公演の公開リハーサルを無料で実施しました。また、演奏会に出かける日までのモチベーションを高め、興味を持続させるため「子ども音楽新聞」を発行し、音楽や演奏家、作曲家についての豆知識を

案内しています。今年度はオーボエコンクール開催に因み、「コンクール」をテーマに1刊発行しました。

(8) セミナーの開催

世界的にも著名な音楽家・教育者を招いて、セミナーを開催します。若手育成のための音楽教育プログラムであるとともに、日本の教育者たちにも学べる機会を与えることを目的とします。今年度は、著名なチェリスト、ヨーヨー・マの来日公演に伴い、子どもたちを対象としたアウトリーチを開催しました。

【日程及び会場】

2015年10月24日(土) [長野県] 軽井沢大賀ホール

出演：ヨーヨー・マ(チェロ)

主催：Sony Music Foundation

公益目的事業2. 国際的コンクール等の開催事業、芸術家の顕彰事業及び芸術家の研鑽に対する助成事業

(1) 「第11回 国際オーボエコンクール・軽井沢」の開催

1985年から3年毎に開催してきた「国際オーボエコンクール」は、今年度2015年に第11回を迎え、30周年という大きな節目となる大会として開催しました。

今回はオーボエのレパートリーの拡大に貢献するため、世界的な作曲家である細川俊夫氏に新作の課題曲(無伴奏作品)を委嘱、期間中に細川俊夫氏本人によるレクチャーも開催しました。

結果として日本人初、アジア人としても初となる第1位[大賀賞]受賞者が誕生し、大きな話題となりました。

【日程及び会場】

2015年10月3日(土)～10月12日(月・祝)

主催：Sony Music Foundation

後援：文化庁 / 国際ダブルリード協会 / 日本オーボエ協会 / 軽井沢町

軽井沢町教育委員会 / 信濃毎日新聞社 / FM軽井沢

協賛：ソニー株式会社

協力：公益財団法人 群馬交響楽団 / 日本ダブルリード株式会社 / 公益財団法人 軽井

沢大賀ホール /ヤマハ株式会社 /ショット・ミュージック株式会社
会場：[長野県] 軽井沢大賀ホール 他

(2) 齋藤秀雄メモリアル基金賞

2002年度に創設された「齋藤秀雄メモリアル基金賞」はチェリスト・指揮者・教育者として高名な故・齋藤秀雄（1902－1974）氏に因むものです。

2000年3月17日に齋藤秀雄氏未亡人・齋藤秀子氏が90歳で逝去され、氏の遺言公正証書第参条に「財団法人ソニー音楽芸術振興会（現・公益財団法人ソニー音楽財団）は、遺贈された財産で振興会の中に『齋藤秀雄メモリアル基金』を設け、この基金により若手チェリスト、指揮者の発掘、育成を目的とした顕彰制度を実施して下さい。」と記載がありました。

これは、その十数年前、同家の資産運用の相談を受けた当財団初代理事長・故大賀典雄が同家の資産を買取った経緯があり、そのことに因ると思われます。齋藤秀子氏の遺言執行者である中央三井信託銀行から当財団に、306,483,968円の遺贈金が寄せられました。

当財団理事会、評議員会で審議の上、齋藤秀子氏の生前の希望により、大賀が小澤征爾氏（指揮者）、堤剛氏（チェリスト）とも協議した結果、この遺贈金は「齋藤秀雄メモリアル基金」として運用することになりました。この基金の利息収入により2002年度から毎年度「齋藤秀雄メモリアル基金賞」を授与することが決定しました。2011年度に一部規則改定し、広く業界から候補者に関するご意見を伺い、新たに任期制選考委員3名に加わっていただき選考を行い、理事会にて決定しています。第14回となる今年度は、チェロ部門に上森祥平氏、指揮部門に川瀬賢太郎氏が受賞しました。

当賞の内容は以下の通りです。

1. 名称

「齋藤秀雄メモリアル基金賞」

2. 選考対象

- ・ 音楽芸術文化の発展に貢献し、将来一層の活躍が期待される、若手チェリスト、指揮者。
- ・ チェリストと指揮者を各々1年に1人顕彰することを原則とする。但し、適切な該当者がいない場合は顕彰しない。

3. 選考方法

音楽関係者からの意見等を参考に、選考委員会で、選考委員が候補者を選出し、全員で選考の上、受賞者を選定し、理事会において決定する。
選考委員会は、顕彰年の上半期に開催することを原則とする。

4. 選考委員の選定

(永久選考委員)

永久選考委員は以下の通りとする。

永久選考委員：小澤 征爾 氏 (指揮者)

堤 剛 氏 (チェリスト)

(任期制選考委員)

上記永久選考委員以外に任期制の選考委員を3名置く。任期制選考委員は理事会に於いて選任し、任期は3年とする。任期制選考委員に欠員が生じた場合には、理事会に於いて後任を定める。

5. 賞

・楯

・賞金 当該年毎に1人500万円 (総額1,000万円)

6. 受賞者発表時期、方法

顕彰時期を考慮して、当該年毎に適切な発表時期を定める。受賞者はマスコミに公表し、当財団ホームページでも公表する。

7. 顕彰時期

当該年毎に適切な時期を定める。

8. 主 催：Sony Music Foundation

特別協力：公益財団法人サイトウ・キネン財団

セイジ・オザワ 松本フェスティバル実行委員会

(3) 「齋藤秀雄メモリアル基金賞」受賞者に対する支援

2002年より創設された「齋藤秀雄メモリアル基金賞」では毎年、1名ずつの若手チェリストと指揮者を顕彰しています。この賞の更なる意義を深めるために、この賞を受賞された演奏家達に、演奏の場の機会を与えることを目的とした事業です。今

年度は第13回受賞者の大友 肇氏によるコンサートを行いました。

「東京・春・音楽祭」2015 チェリスト 大友 肇 ソロと室内楽の夕べ～齋藤
秀雄メモリアル基金賞 受賞者支援コンサート～

主催：東京・春・音楽祭実行委員会／Sony Music Foundation

【日程及び会場】

2015年4月1日（水） [東京都] 上野学園 石橋メモリアルホール

出演：大友 肇（チェロ）※第13回受賞者 野本哲雄（ピアノ）

クアルテット・エクセルシオ（大友 肇所属の弦楽四重奏団）

（4）「国際オーボエコンクール」入賞者及び奨励賞受賞者に対する支援

1985年より3年毎に開催される「国際オーボエコンクール」はこれまで国内外の多くの若手オーボエ奏者にコンクールという形で場を提供してきました。日本人最高位に贈られる「奨励賞」受賞者や本選出場を果たした演奏家に、演奏の場の機会を与えることを目的とした事業です。

今年度は、実施しませんでした。

（以上）